

べんリフター ワイヤロープ損傷注意

べんリフターのワイヤロープが、使用している部分ではなく、ホイスト内部に巻いてあるワイヤロープ箇所でもキックが起きる現象が発生しておりますので使用のご注意をお願い致します。

<試験方法>

1. ワイヤロープを伸ばして、ドラムへの巻きつけを緩ませた状態で数十回の荷揚げを繰り返し、状態を確認。



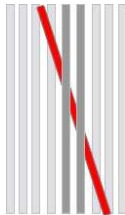
(ホイストワイヤードラム状況)



(キック、うねり確認)

<試験結果>

ドラムへの巻きつけが緩んだ状態で繰り返し使用を続けることにより、ワイヤロープ異常の発生を確認した。



乱巻きとなったワイヤロープ（赤）の上に次々とワイヤロープ（グレー）が重なり、締め付けられることにより、潰れなどのキックが発生する。

■キックの原因は、以下の原因があります。

①過荷重運転

過荷重運転はワイヤロープを加速度的に劣化させる。

②衝撃及び振動

ワイヤロープに大きな衝撃や振動することを繰り返すことにより、疲労して遂には破断事故を起こす。ロープの破断事故は衝撃が原因となっていることが最も多い。

日常点検（使用前点検）の実施の際、ワイヤロープにうねりなどがないかのチェックが重要となる。

<現場使用時における対策事項>

■日常点検の実施

⇒点検項目は取扱説明書に記載しています。

■過荷重運転の禁止。積載荷重 150 kg以内を厳守すること。

■設置時に荷台と連結する際など、必要以上にワイヤロープをのばさないで下さい。

万が一のばしてしまった際には、人力でワイヤロープに緊張をかけた状態で巻き上げ下さい。

■荷台の下げ過ぎ（取込み時に足場板に置く等）によるワイヤロープの緩みをなくす。

（オプションの下限リミットもあります）

以上